

## 2023年9月期 京都信用金庫の現況

### ■ 資産・負債等の状況

#### ● 資産の部

(単位：億円)

	2022年9月末	2023年9月末	増減	2023年3月末
現金・預け金	7,765	<b>7,502</b>	△ 262	7,590
有価証券	6,483	<b>6,985</b>	501	6,848
貸出金	18,326	<b>18,581</b>	255	18,456
事業性貸出金	13,518	<b>13,609</b>	90	13,569
貸倒引当金	△ 179	<b>△ 196</b>	△ 16	△ 188
資産の部合計	33,314	<b>33,725</b>	411	33,526

#### ● 負債及び純資産の部

(単位：億円)

	2022年9月末	2023年9月末	増減	2023年3月末
預金積金	28,929	<b>28,934</b>	4	28,710
個人預金	21,397	<b>21,387</b>	△ 9	21,431
負債の部合計	32,284	<b>32,790</b>	506	32,504
純資産の部合計	1,029	<b>935</b>	△ 94	1,022
負債及び純資産の部合計	33,314	<b>33,725</b>	411	33,526

### ■ 損益の状況

(単位：百万円)

	2022年9月期 (2022年4月1日～9月30日)	2023年9月期 (2023年4月1日～9月30日)	増減
業務粗利益	12,832	<b>14,510</b>	1,677
うち資金利益	13,967	<b>14,229</b>	261
うち役員取引等利益	242	<b>323</b>	81
うち債券関係損益	△ 1,420	<b>△ 133</b>	1,286
一般貸倒引当金繰入額	444	<b>404</b>	△ 40
経費	11,992	<b>11,907</b>	△ 85
業務純益	395	<b>2,198</b>	1,803
実質業務純益	840	<b>2,602</b>	1,762
臨時損益	1,001	<b>△ 804</b>	△ 1,806
うち不良債権処理額	1,762	<b>1,198</b>	△ 564
うち株式関係損益	3,081	<b>1,072</b>	△ 2,009
経常利益	1,397	<b>1,393</b>	△ 3
当期純利益	991	<b>1,083</b>	92

## ■ 貸出金の業種別残高及び構成比

(単位：億円)

	2022年9月末	構成比	2023年9月末	構成比
製造業	2,767	15.1%	2,792	15.0%
建設業	992	5.4%	1,031	5.5%
運輸業、郵便業	344	1.9%	344	1.9%
卸売業、小売業	2,504	13.7%	2,516	13.5%
不動産業	2,624	14.3%	2,617	14.1%
飲食業	622	3.4%	610	3.3%
医療、福祉	746	4.1%	765	4.1%
地方公共団体	1,082	5.9%	1,041	5.6%
個人	4,945	27.0%	5,112	27.5%
その他	1,695	9.3%	1,750	9.4%
合計	18,326	100.0%	18,581	100.0%

## ■ 有価証券の状況

### ● 有価証券の時価情報

(単位：億円)

	2022年9月末				2023年9月末			
	時 価	評価差額	うち益	うち損	時 価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	6,474	△ 131	103	235	6,976	△ 278	70	349
国 債	2,555	18	60	41	2,165	△ 65	32	98
地方債	759	△ 3	5	8	1,235	△ 29	1	31
社 債	1,427	0	11	10	1,829	△ 25	4	30
うち公社公団債	740	6	10	4	726	△ 10	4	15
うち金融債	95	△0	0	0	87	△0	0	0
株 式	100	20	24	4	117	28	31	2
その他	1,631	△ 168	1	170	1,627	△ 186	0	186
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-
うち国債	-	-	-	-	-	-	-	-
売買目的有価証券	0	-	-	-	-	-	-	-
子会社・子法人等株式	8	-	-	-	8	-	-	-

※評価差額は、9月末日の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価の差額を計上しています。

※時価は9月末日の市場価格等に基づいています。

## ■ 不良債権の状況

### ●信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：億円)

区分	2022年9月末	2023年9月末	増減	2023年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	140	160	19	165
危険債権	632	665	32	635
要管理債権	29	41	11	34
三月以上延滞債権	0	0	△0	-
貸出条件緩和債権	28	40	12	34
小計(A)	802	866	63	836
保全額(B)	677	717	39	697
個別貸倒引当金(C)	136	145	8	141
一般貸倒引当金(D)	1	1	0	1
担保・保証等(E)	539	570	30	555
保全率(B)／(A)(%)	84.39%	82.76%	△1.63%	83.46%
引当率((C)+(D)／((A)-(E)))(%)	52.36%	49.57%	△2.78%	50.79%
正常債権(F)	17,557	17,748	191	17,655
総与信残高(A)+(F)	18,360	18,615	255	18,491

※引当率は今後一定期間中に発生が見込まれる予想損失額をベースとして算出したものです。

## ■ 自己資本の状況

### ●単体自己資本比率（バーゼルⅢ国内基準）

(単位：億円)

	2022年9月末	2023年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	1,138	1,155
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	25	21
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	1,113	1,134
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	13,497	13,732
自己資本比率((ハ)／(ニ))	8.24%	8.26%

※自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しています。なお、当金庫は国内基準を採用しており、信用リスク・アセットの算出においては、標準的手法を採用しています。

※自己資本の状況の詳細については、「京都信用金庫の現況(自己資本の充実の状況等について)」にて開示しています。

- 本資料は、2023年9月期における当金庫の現況をお知らせするものです。
- 本資料に掲載している内容については、発表日において当金庫が認識している計数等を基に作成しています。また、会計監査人による監査は受けていません。
- 本資料では単位未満を切り捨てて表示しています(構成比については四捨五入しています)。したがって、項目ごとを加減算した場合、合計欄および増減欄の数値と一致しない場合があります。
- 本資料についてのお問い合わせ先：京都信用金庫 経営企画部 TEL(075)211-2111